



1-1:ロンドン

1-1-3 新人若手デザイナー支援策

A)ファッションフォワード

○3シーズンの「ニュージェン」の支援でショーを行ってきたものの、その後突然自力でショーを続けていくというのはなかなか困難である。せっかく才能ある若手として注目されても、3シーズンでビジネスが軌道にのるわけではなく、その後やむなくショーを中止したり、ブランド自体を閉鎖するデザイナーは少なくない。そこで2006年、そうしたもう少しの間支援を必要とする将来性のあるデザイナーを対象とした新しい新進デザイナー支援プロジェクト「ファッションフォワード」がスタートした。

○2009～10年秋冬からは、ロンドン市の外郭団体であるロンドン開発局(ロンドン・ディベロッピング・エージェンシー)の資金によって運営されることになった。選出デザイナーは「クリストファー・ケイン」、「アーデム」、「マリオス・ショワブ」の3ブランドで、まさに今のロンドンを代表する新進デザイナー3人である。そうした意味でも、「ニュージェン」卒業後のこの時期の援助がデザイナーの更なる発展に必須であることが伺われる。



1-1:ロンドン

1-1-3 新人若手デザイナー支援策

B)ファッションイースト

○2000年9月にスタートした「ファッションイースト」はその名のとおり、もともとは東ロンドンのイベントだった。当時ファッションエリアとして注目されはじめていた東ロンドンのブリックレーンにあるビール工場の跡地を再開発したオールド・トゥルーマンズ・ブルワリーには、若手アーティストのスタジオがあつまり、そのイベントスペースでは、1997年から2000年の間、「フセイン・チャラヤン」や「マシュー・ウィリアムソン」、「クレメンツ・リベイロ」ら、当時のロンドン若手シーンを牽引するデザイナーたちがショーを行っていた。

○そこで、オールド・トゥルーマンズ・ブルワリーのプロジェクトディレクターのルル・ケネディ氏が、当時ファッション化をはかっていたテレビ局のチャンネル4とスミノフ・インターナショナル・ファッション・アワードと組み、同スペースで新人デザイナーの合同ショーを行ったのがはじまりである。



1-1:ロンドン

1-1-3 新人若手デザイナー支援策

○第1回の参加ブランドは「アイ・イー・ユニフォーム」、「カミラ・スターク」、「ブラック」、「パツリック・トムソン」だった。その後何シーズンか同会場で行われたが、より他のショーからのアクセスがいい中心街へと移り、2005年春夏からは公式スケジュール入りし、2005-06年秋冬からはトップショップがスポンサーになっている。応募資格は英国を拠点とした若手デザイナーで、審査に選ばれた3ブランドが合同ショーに参加できることに加え、3500ポンドのコレクション制作援助金を得られる。

<http://www.fashioneast.co.uk>



■「ファッションイースト」のサイト

Enter the MySims Capsule Collection



NEWS

Fashion East announce designers for Spring Summer 2009

With Topshop as headline sponsor for the 10th consecutive season, Fashion East continues to go from strength to strength; delivering a high-energy snapshot of what's cool, directional and happening in London right now. Young Scottish designer of the year Louise Gray, is voted back for her final show, print maestro David David is back by popular demand for his 2nd show - this time presenting a film - and Central St Martins newcomer Natascha Stolle prepares for her debut

SPONSORS

TOPSHOP
THE OLD TRUMAN BREWERY

NEWS DESIGNERS PREVIOUS DESIGNERS THE PROJECT

FASHION EAST

created by



1-1:ロンドン

1-1-3 新人若手デザイナー支援策

C)ファッションフリンジ

○「ファッションフリンジ」はサンデー・タイムズ・スタイルのファッションエディターであり、英国を代表するファッションジャーナリストの1人であるコリン・マクドウェル氏の提唱によって2004年にスタートした新人発掘育成コンテスト。これからブランド設立を計画、もしくは設立間もないデザイナーが対象で、最終選考に残った4ブランドは、毎年1回9月のロンドンコレクション中に公式スケジュールの一環として、10着のミニショーを行い、そこで大賞が選出される。審査はトム・フォードやドナテラ・ヴェルサーチなどを名誉会長に迎えて行われ、大賞受賞者は1年間のコレクション制作・販売及び発表の経費として10万ポンドの資金援助を得ることになる。

○設立当時には、「援助を必要としているのは全くの新人ではなくもう少しビジネスが軌道にのりはじめた若手ではないか」と、このコンテストへの疑問の声も聞かれたが、初回の受賞者ブランドの「バツソ&ブルック」、2年目の「アーデム」はこれを機に新進デザイナーとして活躍している。もっともその後の「ギャビン・ダグラス」、「アミナカ・ウォルモント」は支援期間が終わるとショーを休止するなど、今一つ伸び悩んでいるようだ。



■「ファッションFRINGE」のサイト

FASHION FRINGE

AT
COVENT
GARDEN

With special thanks to:





■2007年春夏シーズンに行われた第3回ファッションフリンジの大賞受賞者、ギャビン・ダグラスと作品



■2007年春夏シーズンに行われた第3回ファッションフリンジの審査員。右からデザイナーのジャイルズ・ディーコン氏、ジャーナリストのサラ・モア氏、名誉会長のトム・フォード氏、発起人のコリン・マクドウェル氏





■ 2007年春夏シーズンに行われた第3回ファッションフリンジの大賞受賞者、ギャビン・ダグラスと作品





■ ハロルド・ティルマンBFC会長(左)とサイモン・ワード事務局長





1-1-1:ロンドン

1-1-4 ロンドンの教育機関

A)セントラル・セントマーティンズの独壇場

○英国の美術大学や商業大学には古くからファッション科があり、年に1度の合同卒業ショーイベント「グラジュエート・ファッション・ウィーク」の参加大学だけでも30を超える。そうした中、他校の追随を許さない圧倒的な地位を保っているのがセントラル・セントマーティンズ美術大学(CSM)である。英国出身の著名デザイナーの大半、さらには最近のロンドンコレクションで「ニュージェン」に選ばれる将来性のある新人のほとんどが同校の卒業生である。

○日本ではあまり意識されていないが、同校には大学にあたるBA(学士コース)と大学院のMA(修士コース)がある。そして今着目されるのは、最近の新進デザイナーのほとんどがMAの卒業生であること。90年代までは「ジョン・ガリアーノ」や「フセイン・チャラヤン」、「ステラ・マッカートニー」のように、BA卒業の著名デザイナーもいたが、今世紀に入ってからほとんど見られない。MAの卒業生には、「イーリー・キシモト」の岸本若子や「クリストファー・ケイン」のように同校のBAを経てMAを卒業するデザイナーもいるが、大半が英国の他大学や外国の大学のBAを卒業し、CSMのMAで学んだデザイナーである。



1-1-1:ロンドン

1-1-4 ロンドンの教育機関

○つまり、国内外の優秀な大学卒業生がここで学生として最後の磨きをかける。そして、卒業時にはロンドンコレクションの一環として、世界のプレスやバイヤーに卒業コレクションを披露することになる。90年代中頃以降は留学生の割合がぐっと増え、世界の優秀な才能が、英国の新進デザイナーとなりロンドンコレクションにデビューしている。卒業生たちは「学生同士のライバル意識は強く、とても刺激になるとともに、先生からだけでなく同級生から多くを学んだ」と口を揃える。優秀なデザイナーを輩出しているから、世界から優秀な入学生が集まる。その繰り返しで、同校の英国、さらには世界でのナンバーワン校としての地位を不動のものとしている。

○そして、MAから優秀なデザイナーが輩出されるもう1つの理由として、主任教授であるルイズ・ウィルソン教授の存在をあげる業界関係者は少なくない。オリジナリティーの追求はもちろん、ビジネスセンスまでを厳しく指導するウィルソン教授が自分の才能を開花させてくれたと語る卒業生デザイナーも多い。



1-1-1: ロンドン

1-1-4 ロンドンの教育機関

○ウィルソン教授は、同校から優秀な卒業生が輩出される理由として、前述の優秀な入学生がお互いに学びことに加え、ロンドンのど真ん中にあるという立地条件をあげる。学生たちは否応なしに、最新のストリートの動向に触れられることは、この上なく重要であるという。「よくファッション雑誌は見ないというデザイナーがいるが、私はそういうデザイナーは認めない。ファッションが大好きだからデザイナーになったのであれば、世の中や他のデザイナーがどんなファッションを発信しているのかが気になるのが当然だから」というウィルソン教授の言葉からも、教育方針が伺われる。


<http://www.csm.arts.ac.uk>



■ セントラル・セントマーティンズのサイト

University Home

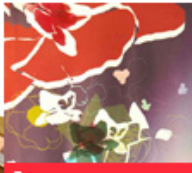
- Home
- About
- Courses
- News and events
- Showcase
- Research
- Contact
- Innovation and business
- Alumni and community
- International




University of the Arts London
Central Saint Martins

Showcase 2009 Central Saint Martins


15th January to 25th February




Our courses




Apply today



Drama Centre London



Byam Shaw



Open days

Quick Course Finder

Enter Keyword

[▶ Go](#)

Site Search

[▶ Go](#)

University Links

- [Showtime](#)
- [Student Support](#)
- [Request Info](#)

[Site Index](#)
[Accessibility](#)
[International Students](#)
[Contact Us](#)
[Find Us](#)



■ 2006-07年秋冬シーズンに開催されたセントラル・セントマーティンMAショーのフィナーレ。
中央9着がクリストファー・ケインの作品

